

REHABILI

プロコン40

リハビリ工法

浸透拡散型亜硝酸リチウム『プロコン40』を用いた 塩害・中性化・ASR補修技術

亜硝酸リチウム併用型ひび割れ注入工法 リハビリシリンダー工法

NETIS:CG-110017-A (掲載終了)

特 徴

スプリング圧による自動注入器！

ひび割れ注入『リハビリシリンダー工法』は、注射器型のひび割れ注入器『リハビリシリンダー』を用いてコンクリートのひび割れを充填、閉塞させる補修技術です。『リハビリシリンダー』に内蔵された特殊スプリングにより、シリンダー内部にセットしたひび割れ注入材を最後まで一定圧力で自動注入することができます。

流動性に優れた超微粒子セメント系注入材！

ひび割れ注入『リハビリシリンダー工法』に使用する注入材は超微粒子セメント系注入材です。そのスラリーは粘性が低く流動性に優れているため微細なひび割れにも浸透し、緻密な硬化体を形成します。また、超微粒子セメント系注入材に先立って浸透拡散型亜硝酸リチウム『プロコン40』を先行注入することによってひび割れ内部の湿潤状態が長期間持続し、注入材の充填性がさらに向上します。

塩害・中性化・ASRによるひび割れに対応！

一般的なひび割れ注入工法の目的は、ひび割れ閉塞とそれに伴う劣化因子の遮断です。しかし、『リハビリシリンダー工法』は単にひび割れを閉塞させるだけの工法ではありません。使用材料として超微粒子セメント系注入材に浸透拡散型亜硝酸リチウム『プロコン40』を併用しますので、注入材によるひび割れ閉塞に加えて、亜硝酸リチウムによる鉄筋腐食抑制効果およびASR膨張抑制効果を付与することができます。

公共土木施設の長寿命化に資する技術に登録!!

『リハビリシリンダー工法』は、広島県の公共土木施設の長寿命化に資する技術の区分3(推奨技術)に登録されています。

施工手順



①座金取り付け



②ひび割れシール



③亜硝酸リチウム先行注入



④超微粒子セメント本注入

施工仕様

注入装置:自動注入器「リハビリシリンダー」

注入材:超微粒子セメント系ひび割れ注入材 + 浸透拡散型亜硝酸リチウム『プロコン40』

注入圧力:0.1MPa~0.2MPa程度

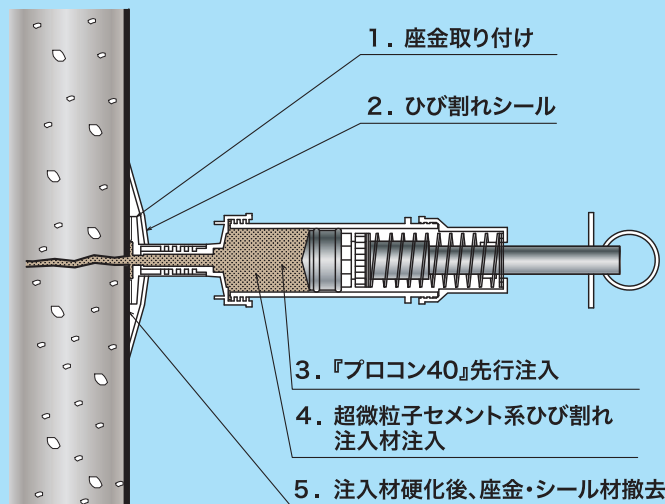
ひび割れ幅:0.2mm~10.0mm程度

施工手順

1. 施工面を高圧洗浄またはディスクサンダー等により下地処理します。
2. リハビリシリンダーを固定する座金をひび割れに沿って250mm間隔で設置します。
3. 座金間のひび割れをポリマーセメントペーストにてシールします。
4. リハビリシリンダーに『プロコン40』を充填し、座金にセットしてひび割れ内に先行注入します。
5. 超微粒子セメント系注入材をリハビリシリンダーに充填し、座金にセットしてひび割れに本注入します。
6. 注入材が硬化した後、リハビリシリンダーと座金を撤去し、シール材を除去します。

工法概念図

ひび割れ注入工



一般社団法人 コンクリートメンテナンス協会

事務局 / 〒730-0053 広島市中区東千田町2-3-26
TEL082-541-0133
<http://www.j-cma.jp>